

事業所における自己評価結果(2019年度)

親と子の広場・アン

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか	○			利用人数や活動内容によって棚の位置を動かすことで広さを調節している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			その日の利用人数に応じて職員を増やしている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			部屋に入ってすぐの所に、玄関を向いた状態で棚を配置している。自分の棚に荷物を片付けてから、活動室に入れる様に導線を考え設定している。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか		○		毎日掃除はしているが、水回り、ピアノ、棚などは気付いた人がその都度掃除している。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			その都度職員間で話し合い改善を進めている。月1回親子保育・併行保育に関わる職員の合同会議を設けている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			2019年2月ホームページに掲載。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	療育経験者や退職者が実際に保育に入り、意見やアドバイスをしてもらっている。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修に積極的に参加。また外部の講師を招いて内部研修を月に1回行ったり、報告研修を事業所内で行っている。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			アセスメントとセルフプランをもとに、本人に必要な課題を検討し個別支援計画を立てている。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			実際にアセスメント以外にも、親子間の様子を観察した上で、その子の背景などの聞き取りをしている。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			同じ課題内容であっても、子どもの様子や状況で支援の内容を変えている。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			毎日の保育の内容を、児童発達支援計画の課題に合った活動にしている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月に一回の定例会議や、その都度必要に応じて話し合ったりしている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			同じことを繰り返し続けていく事で楽しめる事も多いため、ある程度固定はしているが、戸外活動、父親保育、祖父母保育などの行事も行なっている。

適切な支援の提供	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		発達段階に応じて考え行なっている。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		その日のリーダーが主になって、日案をもって行なっている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		その日のリーダーが主になって日案をもって行ない、保護者の様子についても話している。
	⑲	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎日その日のサブリーダー、フォロー担当の職員が、各利用者の様子を記録している。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半期に一度、個人懇談前にモニタリングを行っている。また定期的に職員全体で評価し、課題を設定している。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○	ほとんどがセルフプランの対象者である。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		年に1回保健センターと協議を行なう。それだけでなく、必要な時はそのつど連絡を取り合って情報共有している。また利用者の中には同法人の子育て支援施設や、事業所主催のつどいの日を利用して来た人も多い。それら施設や外部事業所とも連携をはかっている。
	㉓	(医療ケアが必要な子どもや重度心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	/		
	㉔	(医療ケアが必要な子どもや重度心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/		
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		園との併行利用児や、卒所する利用児の申し送りを行なっている。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	/		
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修をうけているか	○		自立支援協議会に参加し、情報交換したり研修を受けている。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、事業所外の子どもと活動する機会があるか		○	法人の活動に参加を呼びかけ、一緒に活動する機会を得ている。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		参加している。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		子どもの発達の状況や課題を理解してもらえよう努力している。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか			○

保護者への説明責任等	③②	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用契約時に必ず説明している。
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		契約から約一か月をめぐりに行なっている。
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		半年に一回の個人懇談だけでなく、そのつど相談に応じている。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者交流会を開催している。また保護者実行委員会を作り、行事活動する機会を作っている。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		保育後や電話などでも、なるべく声に耳を傾けている。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月おたよりを発行し配布。活動室にも提示している。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分配慮しているか	○		重要書類は利用者から見えないところに保管。使用後の書類は随時シュレッターしている。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		具体物を見せて活動を促したり、イメージができるようリズムでは絵カードを使ったりしている。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		地域の高齢者施設の夏祭りや、地域自治会の避難訓練など行事に参加している。
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		水害、火災、地震の防災訓練は年に一回ずつ行なっている。
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		予防接種については聞き取りしていない。
④④		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		アレルギーの有無を確認している。保護者からの聞き取りで、クッキングや昼食時のアレルギー対応をしている。
④⑤		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット事例集を作成した。事業所内で安全対策について話しあっている。
④⑥		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		推進委員が内部研修を行なっている。
④⑦		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		身体拘束を行なうことはないが、怪我や事故に繋がらない様、飛び出しなどの際には止めることもあると伝えている。